

全国大会で準優勝!!

インディアカ県代表みちのく平泉

第23回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク」やま2010「インディアカ大会」が10月17日、18日の両日、富山県南砺市で開催されました。当町のインディアカ協会から選ばれた10人が、岩手県代表の「みちのく平泉」チーム（鈴木徹監督・9区）として同大会に出場し、全国大会準優勝という快挙を成し遂げました。大会初日の予選リーグでは、徳島・長崎・東京の各チームと対戦。全試合3



全国大会準優勝を果たしたみちのく平泉チーム

優勝は3戦全勝の新潟代表チーム。当町チームは2勝1敗で青森チームと勝率で同率となりましたが、得失セット差で上回り、大会準優勝となりました。小野寺悦子キャプテン（9区）は、決勝リーグは全試合接戦となったが、準優勝することができました。また大会や交流会を通じて、他県選手との交流も図れたし、世界遺産登録に向け平泉のPRもできたので良かった」と話していました。

を通じて、他県選手との交流も図れたし、世界遺産登録に向け平泉のPRもできたので良かった」と話していました。



決勝リーグ・静岡代表チームとの対戦

第31回行政区対抗 親子ピンポン大会

日時…11月21日(日) 9:00~
場所…町立長島体育館
参加資格…平泉町民
申し込み期限…11月12日(金)
問い合わせ先
卓球協会事務局・佐藤 ☎28-2031
または行政区のスポーツ推進員まで



初優勝を果たした平泉FCのメンバー

平泉FCが初出場初優勝!

第14回県南青少年の家所長杯サッカーフェスティバル（県南サッカーフェスティバル）が10月2日、3日の両日、金ヶ崎町で開催され、当町から出場した平泉FCが二部で優勝の快挙を成し遂げました。予選リーグを2勝1敗で通過した同チームは、準決勝で県下でも強豪の紫波東ウイオラチームに3-1で勝利。決勝戦では、金ヶ崎第一チームに2-0で快勝し見事初出場・初優勝を飾りました。

大会に出場した丸山凌平さん（平泉小6年）は、次の大会でも優勝できるよう練習を頑張りたい」と抱負を語ってくれました。

第10回平泉町教育長杯 争奪学童野球交流大会

平泉町野球スポーツ少年団育成会が主催する第10回町教育長杯争奪学童野球交流大会が10月9日、10日の両日、町営長島球場と長島小学校庭を会場に開催されました。当町のスポ少平泉クラブと長島ジャイアンツをはじめとする県内10チームが参加。地元平泉の両チーム選手は、沢山の声援を受けながら元気ハツラツなプレーを見せていました。



選手宣誓をする菅原拓登選手（長島小6年・左）と千葉大夢選手（平泉小6年・右）

●長島体育館の床修繕工事をします。
期間 11月22日(月)～約1ヶ月間
期間中は一時利用休止いたします。ご理解のほどよろしくお願いいたします。
町教育委員会

平泉小学校

ハートに響け!!
平小学習発表会!
10月23日土曜日。さわやかに晴れ上がったこの日、平泉小学校の学習発表会を開催しました。会場の体育館には、400人を越える保護者や地域の方々がつめかけてくださいました。児童会のスロークリケットは、「ハートに響け!!平小学習発表会!」子どもたちは



大勢のお客さまの前で、学習の成果を堂々と披露しました。会場一杯に響く声、リコーダーの美しい音色、優しく響き合う歌声、躍動感あふれる身体表現など、持てる力を存分に発揮し、お客さまの心に響く感動の発表ができました。発表を終えてステ



集中して真剣に臨みやり遂げた充実感や満足感を全体で感じているようでした。教えをどんどん吸収し、めきめきと力をつけていく平泉っ子。秋の深まりとともに、心にも体にもさらに磨きをかけて、2学期のまじめに向かいます。

平泉中学校

笑顔いっぱい保育実習

10月3日、3年生が二葉きりぎりす園で保育実習を行いました。全員がこの日のために6月から家庭科の時間にこつこつ作ってきた「布絵本」を抱えて、訪問しました。男子生徒は、学校を出発するとき、鏡を見ながら「こわがらねいかなあ?」と心配しながら目一杯の笑顔を作っていました。

長島小学校

全校朝会パート5
きらりと光る個性に気づこう
保護者や地域の方を講師にお迎えしての5回目の全校朝会が行われました。今回は、平泉町教育委員長の畠山昭先生(17区)です。教員時代の生徒とのかかわりをもとに自分の個性を磨くことの大事さについて話してくださいました。ある子は勉強が苦手だったけど走るのが好きで、後に箱根駅伝に出場するまで

になったこと。また別の子は漢字が得意で難しい漢字を調べてきては先生に問題をを出し、先生も得意な算数や理科の問題を出し、いつの間にか、クラスの子ともたちも得意なことを調べてきては問題を出し合っていて、一人ひとり得意なものをもつようになったこと。だれでも自分の得意なものがあること。それが個性で、皆さんもきらりと光り輝く個性に気づいて磨き続けてほしいと子どもたちにエール



子どもにエールを送る畠山先生

を送ってくださいました。私たち大人は、子どもたちの輝く個性を見つけてやり、磨くように仕向けてあげることが大切な役割であることを再認識しました。

保育園では、0歳から5歳までのクラスに6人ぐらいずつに分かれて、触れ合い学習を行いました。3歳児の部屋では、フェルトやボタン、ホックなどを使って手縫いで仕上げた自慢の絵本を見せ、「これが花だよ!」と喜んで、ボタンのはずし方を優しく教えながら遊んでいました。



手作り絵本で園児と触れ合う中学生

川翔) 短い時間でしたが、みんなが優しい笑顔になり、たくさんパワーをもらって学校に戻ってきました。